



NPO法人道普請人

Communication on Engagement

対象期間: 2021年11月～2023年10月

連絡先

NPO法人道普請人 理事 福林良典

E-mail: info@coreroad.org

団体概要

所在地：京都府京都市下京区東塩小路向畑町20－13 プレザンス京都駅前502号

設立：2007年12月

理事長：木村 亮（京都大学大学院 工学研究科 教授）

理事数：10人

職員数：4人

会員数：137人，20団体（2020年度）

事業費（2020年度）：79,788千円

団体設立の背景および目的：

- 多くの開発途上国が農業国でありながら、農村インフラ（農道、ため池など）の整備が進んでいないことが貧困の一因となっている。「簡単な技術で途上国の人々を幸せにする」にはどうすればよいかを出発点に、開発途上国の農民や若者に、地元の資材を活用し、自分たちで道直しができるよう技術移転を行う。具体的な手法として、本団体は日本の伝統技術「土のう」による道路整備手法を開発し、その普及も進めている。
- 「開発途上国の問題は、現地に適したやり方で、そこに住む人々自身で解決していく」ことの実現を目指し、土のうによる道直しなど、現地で入手可能な資材や機材による道路整備の工夫をし、その技術移転や苗木生産による環境問題への取組みを展開する。

理事長による継続支持表明

NPO法人道普請人は、2013年4月23日にグローバル・コンパクトに市民団体として加盟しました。

引き続きグローバル・コンパクト10原則を支持し、自身の団体運営にも活かして参ります。広報活動の一環で、グローバル・コンパクトやその原則について、周知を図ります。

今後もグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークに従事します。分科会の講習会などに参加し、企業との情報交換を通して当団体の貢献について考察し、実践して参ります。

企業の環境に関する提携プロジェクトに、具体的活動案の提案をし実行します。

 署名

木村 亮 (Makoto Kimura)

理事長 Chairman of Board

2021年10月18日

グローバル・コンパクト10原則

人権 企業は、

原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、

原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

労働基準 企業は、

原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、

原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、

原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、

原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

環境 企業は、

原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、

原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、

原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

腐敗防止 企業は、

原則10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

市民団体への推奨活動進捗・成果・計画-1

グローバル・コンパクト・ローカル・ネットワークに従事すること		
進捗	成果	今後の計画
1. ジャパン・ネットワークに参加	<ol style="list-style-type: none">1. メーリングリストで提供される情報より、世界的、国内での動向を把握できた。2. ロゴの利用や、加盟証を事務所掲示板に示すことで、グローバル・コンパクトの10原則の認識、また啓蒙活動を行うことができた。	ジャパン・ネットワークへの参加を継続。

市民団体への推奨活動進捗・成果・計画-2

企業のサステナビリティに関する提携プロジェクトに参加または提案すること		
進捗	成果	今後の計画
<p>以下に示す企業の助成プログラムへ事業提案、助成を得て事業実施。</p> <p>トヨタ環境活動助成プログラム (2020-2021) TOTO水環境基金(2020、2021)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発途上国の草の根での環境保全に貢献することができた。 2. 開発途上国の農村部における水環境整備、安全な水へのアクセス向上に貢献することができた。 	<p>企業の環境に関する提携プロジェクトに、引き続き提案、実行する。</p>